

# 平成14年6月教育委員会定例会会議録

## 報告事項

報 第 7号 平成14年度視聴覚教育功労者表彰候補者の推薦について

一山生涯学習課長から学校における視聴覚教育や放送教育の充実・推進に永年尽力してきた小学校校長を推薦したと報告があり、異議なく承認された。

## 付議事項

議案第10号 平成14年度きのくに教育協議会委員の委嘱（案）について

西畑教育企画課長から情報通信技術の急速な発達により様々な分野で情報化が進んでおり、教育における情報化もe-japan戦略にも書かれている。このことから「きのくに教育協議会」のテーマを「和歌山県の情報教育の在り方」とし、学校教育や生涯学習における情報教育の在り方について協議をいただきたいと考えている。具体的には情報教育環境整備の在り方、学習活動における情報環境の在り方、情報化の進展に伴う光と陰等について、年4回の会議を予定している。協議会委員については、大学・高校・中学校・小学校の教育関係者6名とその他8名計14名で、うち女性は5名であるとの説明に、委員から協議会をIT関連だけではなくいろんな観点から意見をきいたり、本県教育の在り方を説明をする場としてもいいのではないかと、また、和歌山大学と県教育委員会との連携などについても理解してもらう場を設け、なおかつ意見を聞ける場をもてばよいのではないかと問いに対し、教育企画課長から、今回のテーマである「情報教育の在り方」は、モラルやマナーを含めた心の教育についてもご教示いただく予定としている。その中で教育の現状等説明を求められれば積極的に答えていきたいとの答弁があった。

他の委員から、1つの特化したテーマについて協議するのも大事なことであるが、和歌山県の教育全般についてどうしようとしているのか論議をするところがあってもいいのではないかと、情報

教育について関心はあると思うが、県民のみなさんが心配されたり、また支援を頂いたりしている。そのことを含めていろんな協議をしたり意見を聞いたりする事ができればよいのではないかと質問したのに対し、教育企画課長から、きのくに教育協議会を設置したのは平成10年であり、10年、11年度にはテーマを「21世紀初頭における本県教育の在り方」ということで今ご意見のあったような「高等学校の在り方」、「通学区域の在り方」等について幅広く協議いただき、報告をいただいた。そして、2期目として12年度、13年度において「本県の特徴ある教育の在り方」としてご協議いただき平成14年3月末に報告書の提出となったとの答弁があった。

以上の審議の結果、原案どおり決定した。

#### 議案第11号 和歌山県地方産業教育審議会委員の委嘱（案）について

山崎学校教育課長から産業教育審議会は、国の産業教育振興法に基づいて置くこととなっており、和歌山県地方産業教育審議会条例に基づき定数は13名で任期が2年であり今回その改選期を迎えたため諮るものであるとの説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

#### 議案第12号 校長・教頭の公募について

大江教職員課長から公募についての説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

#### 議案第13号 平成14年度学校保健及び学校安全に関する表彰候補者の推薦（案）について

谷口スポーツ健康課長から推薦者についての説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

#### 議案第14号 平成14年度学校給食優良学校等に関する表彰候補者の推薦（案）について

スポーツ健康課長から推薦者等についての説明があり、審議の

結果、原案のとおり決定した。